

「C」O「2」

温暖化を防ごう！いわて環境フォーラム  
CO<sub>2</sub>ダイエットいわて倶楽部

「D」I「E」

マガジン 2015. 3月号

「T」♪♪

No. 115  
(3/8発行)



■ ■ 今月のテーマ ■ ■ 環境マネジメントスキルアップセミナー報告 ■ ■

◆ イベント情報・お知らせ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・p4

# 環境マネジメント

## スキルアップセミナー報告

温暖化防止いわて県民会議(事務局:岩手県環境生活部)では、県が実施する「エコスタッフ養成セミナー」を受講した方などを対象に、県内事業所における省エネ等の環境マネジメントを推進する人材の育成を強化するため、2月19日(木)に「環境マネジメントスキルアップセミナー」を盛岡で開催しました。今号では、そのセミナーの様様をお届けします！



### ◆講演:「地球温暖化の現状と温暖化防止対策、IPCCの最新報告について」

国立大学法人福島大学 特任教授 渡邊 明 氏

地球物理学・気象学がご専門の渡邊氏による講演には、約60名の方が参加されました。「気温変化はどうして起こるか?」、「気候変動の実態」、「気候変動予測とリスク」、「温暖化対策」の4点を中心にお話いただきました。

冒頭では、世界の平均気温の変化についてのお話があり、中でも印象深かったのが、「ハイエイタス現象(地球温暖化の停滞現象)」についての説明でした。世界の平均気温は、1891年から2011年の間に右肩上がりですり上昇しているものの、2001年から10年間の気温の上昇率は横ばいになっており、これによって、「温暖化は終わったのではないか」といった懐疑論が生まれやすくなります。しかし、気温が上がるだけが地球温暖化という訳では無いと渡邊氏は指摘します。その理由は、平均海水温の観測データと照らし合わせることによって分かるのだそうです。平均気温の上昇は停滞していても、同時期の海水温は上昇しており、熱エネルギーが海洋に流れていることが読み取れるとのこと。地球規模の大きな問題について考えるためには、大気や海洋など、地球を構成する様々な要素にも目を向けなければならないようです。

また、昨年発表された IPCC 統合報告書についても触れ、二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素の大気中濃度は過去 80



万年で前例が無く、20世紀後半からの人間活動が原因であること、今世紀末には平均気温が0.3℃～4.8℃、海面は26～82cmの上昇が予測されていること、産業革命前に比べて気温上昇を2℃未満に抑えるためには、温室効果ガスを2010年比で2050年までに40～70%削減、2100年までには排出量を0にするといった、追加的な削減策が必要であること等が紹介されました。

そして、「温暖化対策」については、以下の3点が示されました。

①**予防**—温暖化を防ぐためにCO<sub>2</sub>等温室効果ガスの排出を削減する(緩和策)

②**防除**—排出されたCO<sub>2</sub>等温室効果ガスを除去する(二酸化炭素固定化)

③**適応**—温暖化した環境に適応した人類の生活環境を整える(適応策)

②の二酸化炭素固定化には、地下に埋めるにもコンプレッサー等を動かすのにエネルギーが必要であり、やはり二酸化炭素なるべく出さないようにする①をがんばっていきましょうと呼び掛けました。

最後に、「地球資源に依存しないエネルギー社会こそが真の持続循環型社会です。温室効果ガスを排出しない社会から、積極的に減らす社会を創ることが安全・安心な社会創造に必要ななっています。分散型エネルギー社会は、欲しいだけ与えられる社会ではないかもしれませんが、必要なものを賄える社会です。次世代に住みよい環境を残すために、環境改善の行動を続けましょう」というまとめの言葉で講演を締め括りました。

## ◆グループ討議

後半は、参加者約30名がA～Dの4グループに分かれ、東日本機電開発株式会社による環境活動の発表を聴講し、その後、発表内容や配付資料を基に、改善案をグループ毎に話し合いました。

### (1)課題提供「社内の環境対策の現状及び課題」

東日本機電開発株式会社 総務部門グループ長 佐藤 良 氏

盛岡市に本社・工場を有する東日本機電開発株式会社(以下、東日本機電開発(株))は、配電・制御盤等の製造、販売、家畜の排せつ物に関するコンサルティング、特殊肥料の製造、販売、環境に配慮したイチゴ栽培システムの施工、販売といった事業を展開しており、かねてより環境活動に力を入れたいと思っている会社であったと佐藤氏。

本格的に取り組み始めたきっかけは、平成21年に始まった盛岡商工会議所主催の「第1回CO<sub>2</sub>削減コンテスト」。東日本機電開発(株)では、まずはガソリンや灯油、ディーゼル燃料といった燃料の削減に着目し、「エコカツ」という名称でCO<sub>2</sub>削減に取り組んだとのこと。月1回の報告会を通じて使用量を見える化するといった取り組みが評価され、初めてのコンテストで最優秀賞を受賞しました。

受賞により取り組みへの意欲が社内で生まれ、エコドライブや節電(暖房付きトイレの便座のフタを使用後にきちんと閉める等)といった取り組みやすいものから、工場の屋根の断熱化やハイブリッド車購入などの費用が掛かるものまで、年度ごとに新たな取り組みを試みているそうです。

特徴的なのが、トップダウンではなく、社員全員で考えて取り組みようという会社の方針。社員同士で情報を持ち寄り、アイデアを提案しながら柔軟に取り組んでいるということでした。

しかし、毎年CO<sub>2</sub>5%削減を目標に掲げているものの、最近では繁忙期が増え、なかなか手が回らないようになってきたとのこと。また、社員の情報だけに頼って活動を進めるのもそろそろ限界が…といった課題があるそうです。



## (2)グループ討議・(3)発表

佐藤氏からの課題提供を受けてのグループ討議では、まず、発表者、記録係、リーダーをグループ毎に話し合って決定します。また、岩手県地球温暖化防止活動推進員の4名が、アドバイザー役として各グループに参加となりました。1時間といった時間の中で、①低廉な費用で比較的取組みやすいもの、②施設・設備の改修等大規模な対応が必要なもの、以上2つの視点で意見を出し合います。



討議終了後、ホワイトボードに書き出したアイデアを、グループ毎に発表しました。皆さんエコスタッフ養成セミナー修了者として、日頃から事業所で環境活動に取り組まれているということもあってか、様々なアイデアが飛び出しました！その一部をご紹介します。

### ①低廉なもの

- 中長期的に数値目標を設定する
- 植林
- ゴミの見直し
- 排熱利用
- グリーンカーテン
- 雨水利用
- 乗り合わせての車移動
- フリーデスク制(座席を共用にする)
- 涼しい時間からの業務
- 残業場所のエリアを集約し節電する

### ②大規模な対応が必要なもの

- 建物の天井を高くし、空調の対流を良くする
- サーキュレータを設置し冷暖房の効率を上げる
- 照明のLED化
- ハイブリッド車または低燃費車への計画的更新
- 床の断熱化
- 排水があれば屋根面に水を掛ける
- 太陽光発電設置
- 工場の荷降場に風除室を設置する
- 工場を複数に区切ることで省エネ効果を高める



A グループ



B グループ



C グループ



D グループ

## (4)講評

岩手県地球温暖化防止活動推進員の高橋良和氏から、「節電などはどこの事業所でも取り組んでいるが、数値化しどのくらい減らせたかという見える化が意欲に繋がってきます。また、節電にこだわり過ぎたり、目的と手段を混同しているで行き詰まるので、例えば、「いわて地球環境にやさしい事業所認定を目指す」など、目的を見極めて手段を変えていくことが重要。やればきりが無いくらい対策はあるので、楽しみながらエコ活動に取り組んで下さい」といった参加者の皆さんへの激励の言葉をいただきました。

最後に、修了証の配付と名刺交換の時間を以て終了となりました。他の事業者との情報交換の場が欲しいという要望を受けて開催された今回のセミナー。今後、更なる環境活動の輪の広がりが期待できそうです！

## ◆◇◆環境学習交流センターイベント情報・お知らせ

環境学習講座 ～3月～【会場】環境学習交流センター(アイーナ 5階)

○3月22日(日)13:30～15:00

「三陸ジオパーク」

【講師】関 博充 氏(三陸ジオパーク推進協議会) 【参加費】無料

三陸ジオパークの魅力をたっぷりと紹介します！

日本ジオパーク認定を目指して平成23年2月に推進協議会を立ち上げていたが、翌月の東日本大震災により活動休止。平成24年11月、青森県八戸市・宮城県気仙沼市までの沿岸16市町村からなる「三陸ジオパーク推進協議会」が発足。平成25年9月、日本ジオパークの認定を受けることとなりました。

ジオとは、「地球」や「大地」を表す言葉。太古の歴史から現在までの地形や地質、歴史、動植物、人の暮らしなどを含めた地球の魅力をまるごと楽しむことのできる自然の公園です。

震災からの復興とともに、三陸の大地と人々の魅力を全国に発信している活動を、たっぷりと紹介します。

【同時開催:三陸ジオパークパネル展 3月1日(日)～31日(火)】

※詳細はこちら→<http://blog.iwate-eco.jp/2015/02/000706.html>

## 「いわて環境情報板」3月号を更新しました！～もくじ～

1. 特集:三陸ジオパーク
2. 環境学習交流センター3月のイベント
3. 「平成26年度いわてごみゼロ・3R推進ポスターコンクール」審査結果のお知らせ
4. 「地下水を活用した復興支援事業PR映像」の公開について(福島県)
5. 環境保健研究センター新着情報
6. おすすめメールマガジン
7. 県内のイベント情報

※詳細はこちら:<http://www.iwate-eco.jp/know/mailmag.html>

上記お問合せはこちら 環境学習交流センター TEL:019-606-1752 メール:[eco@aiina.jp](mailto:eco@aiina.jp)

★環境学習交流センターの最新情報やお知らせ Twitter:[https://twitter.com/iwate\\_eco](https://twitter.com/iwate_eco)

facebook:<https://www.facebook.com/iwate.eco>

## ◆◇◆編集後記

暖かい日が増えてきたようです。春がすぐそこまで来ているのでしょうか。陰暦で3月を意味する“弥生”には、“草木がだんだんに芽吹く月”との意味があるのだそうです。植物や生き物たちが、今か今かと待ち構えている姿を想像すると、何だか楽しい気持ちになります。(Y)

- 各バナーをホームページでご覧になる際は、アクセスキーの「888」(半角数字)を打ち込んでください。
- 本メールマガジンには著作権が存在します。本誌の記事を転載される場合には発行人まで、ご連絡ください。
- パソコンのメールアドレスをお持ちの方は、メールマガジンへの登録変更をお願いします。
- 本メールマガジンは電子メールでも送付しております。可能な方は電子メールでご覧くださるよう、送付方法の変更について発行人までご連絡をお願いします。
- 本メールマガジンに関するお問合せ(住所変更等)及び情報提供又はご意見は、発行人までご連絡ください。

編集・発行:岩手県地球温暖化防止活動推進センター・岩手県環境生活部環境生活企画室  
〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通1-7-1  
いわて県民情報交流センター・アイーナ5F  
メール:[iccca@aiina.jp](mailto:iccca@aiina.jp)  
TEL:019-606-1752 Fax:019-606-1753

CO<sub>2</sub>ダイエット  
いわて倶楽部

